



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月9日

上場会社名 森尾電機株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6647 URL <http://www.morio.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小泉 泰一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 木下 寛 (TEL) 03-3691-3181
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	1,595	21.6	40	—	42	—	32	—
29年3月期第1四半期	1,312	△30.3	△40	—	△42	—	△35	—

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 63百万円(—%) 29年3月期第1四半期 △128百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	2.39	—
29年3月期第1四半期	△2.61	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	7,869	3,590	45.6
29年3月期	8,159	3,568	43.7

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 3,590百万円 29年3月期 3,568百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	—	—	3.00	3.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成29年10月1日を効力発生日として当社普通株式について10株を1株に併合する予定であるため、平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金につきましては、株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,820	23.4	130	172.4	130	236.9	80	405.7	5.82
通期	7,650	9.5	270	1.7	260	△0.2	160	5.4	116.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成30年3月期の通期の業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、株式併合の影響を考慮した金額で記載しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	30年3月期1Q	14,250,000株	29年3月期	14,250,000株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	494,497株	29年3月期	494,497株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	30年3月期1Q	13,755,503株	29年3月期1Q	13,756,003株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策や日銀の金融政策の効果等を受け、企業収益は底堅さを維持し、個人消費も改善の兆しが見えて来ました。一方、引き続き北朝鮮の地政学的リスクや米国新政権の政策動向等による日本経済への影響が懸念され、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経営環境のもと、当社グループは積極的な受注活動を展開した結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は15億95百万円（前年同四半期比2億83百万円、21.6%増）となり、受注高は20億44百万円（前年同四半期比2億57百万円、11.2%減）となりました。

セグメント別業況は、次のとおりであります。

[電気機器製造販売事業]

電気機器製造販売事業の売上高は15億57百万円（前年同四半期比2億80百万円、22.0%増）となり、受注高は20億44百万円（前年同四半期比2億57百万円、11.2%減）となりました。

主力の鉄道関連事業につきましては、主に国内通勤近郊電車等の車両需要向けを中心に受注活動を展開した結果、売上高は13億62百万円（前年同四半期比2億58百万円、23.4%増）となり、受注高は10億39百万円（前年同四半期比6億13百万円、37.1%減）となりました。

自動車関連事業につきましては、各高速道路会社等に対し車載標識車を中心とする受注活動を展開した結果、売上高は1億64百万円（前年同四半期比72百万円、78.7%増）となり、受注高は9億67百万円（前年同四半期比3億45百万円、55.7%増）となりました。

船舶等関連事業につきましては、防衛省関連等への出荷を中心に受注活動を展開しましたが、売上高は30百万円（前年同四半期比50百万円、61.9%減）となり、受注高は37百万円（前年同四半期比10百万円、37.8%増）となりました。

[不動産関連事業]

不動産関連事業につきましては、各賃貸マンションが堅調な売上を維持しており、売上高は37百万円（前年同四半期比2百万円、6.5%増）となりました。

利益につきましては厳しい価格競争の中、製造コスト及び固定費の削減に努めた結果、当第1四半期連結累計期間の営業利益は40百万円（前年同四半期は営業損失40百万円）、経常利益は42百万円（前年同四半期は経常損失42百万円）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は32百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失35百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ2億91百万円減少し、44億76百万円となりました。これは、主としてたな卸資産が2億18百万円増加したものの、現金及び預金が55百万円、受取手形及び売掛金が4億50百万円減少したこと等によります。

当第1四半期連結会計期間末における固定資産は、前連結会計年度末に比べ0百万円増加し、33億92百万円となりました。これは主として投資有価証券が46百万円増加したこと等によります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末における総資産は、78億69百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億90百万円の減少となりました。

② 負債

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ5億48百万円減少し、27億54百万円となりました。これは、主として賞与引当金が75百万円増加したものの、短期借入金が5億55百万円減少したこと等によります。

当第1四半期連結会計期間末における固定負債は、前連結会計年度末に比べ2億36百万円増加し、15億23百万円となりました。これは、主としてその他の内、リース債務が2億36百万円増加したこと等によります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、42億78百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億12百万円の減少となりました。

③ 純資産

当第1四半期連結会計期間末における株主資本は、前連結会計年度末に比べ8百万円減少し、30億61百万円となりました。これは、主として利益剰余金が8百万円減少したことによります。

当第1四半期連結会計期間末におけるその他の包括利益累計額合計は、前連結会計年度末に比べ30百万円増加し、5億29百万円となりました。これは、主としてその他有価証券評価差額金が30百万円増加したこと等によります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、35億90百万円となり、前連結会計年度末に比べ22百万円の増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点においては、平成29年5月10日に公表いたしました平成30年3月期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	965,210	909,468
受取手形及び売掛金	2,080,311	1,630,199
商品及び製品	181,731	227,632
仕掛品	902,274	1,240,587
原材料及び貯蔵品	535,523	369,553
繰延税金資産	55,954	74,756
その他	46,744	24,415
流動資産合計	4,767,749	4,476,612
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,871,046	2,874,162
減価償却累計額	△1,258,725	△1,282,469
建物及び構築物(純額)	1,612,321	1,591,692
土地	55,297	55,297
その他	564,643	564,809
減価償却累計額	△406,735	△414,314
その他(純額)	157,907	150,494
有形固定資産合計	1,825,526	1,797,484
無形固定資産	370,267	353,240
投資その他の資産		
投資有価証券	1,138,123	1,184,566
その他	57,932	57,169
投資その他の資産合計	1,196,056	1,241,736
固定資産合計	3,391,850	3,392,461
資産合計	8,159,600	7,869,074

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,403,172	1,375,863
短期借入金	1,453,754	898,278
未払法人税等	83,494	34,986
賞与引当金	149,000	224,000
役員賞与引当金	18,000	18,000
その他	195,834	203,146
流動負債合計	3,303,255	2,754,274
固定負債		
長期借入金	982,540	941,299
繰延税金負債	200,552	216,235
その他	104,601	366,309
固定負債合計	1,287,693	1,523,843
負債合計	4,590,948	4,278,118
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,048,500	1,048,500
資本剰余金	897,272	897,272
利益剰余金	1,194,432	1,186,080
自己株式	△70,284	△70,284
株主資本合計	3,069,921	3,061,569
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	489,601	520,501
為替換算調整勘定	9,128	8,885
その他の包括利益累計額合計	498,729	529,386
純資産合計	3,568,651	3,590,955
負債純資産合計	8,159,600	7,869,074

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	1,312,760	1,595,782
売上原価	1,110,556	1,301,424
売上総利益	202,203	294,358
販売費及び一般管理費	243,104	254,241
営業利益又は営業損失(△)	△40,900	40,116
営業外収益		
受取配当金	8,145	7,252
受取補償金	-	800
雑収入	2,858	3,010
営業外収益合計	11,003	11,062
営業外費用		
支払利息	7,673	7,797
為替差損	5,359	709
営業外費用合計	13,032	8,507
経常利益又は経常損失(△)	△42,929	42,671
特別利益		
固定資産売却益	-	1,543
特別利益合計	-	1,543
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△42,929	44,214
法人税、住民税及び事業税	9,758	29,963
法人税等調整額	△16,754	△18,662
法人税等合計	△6,996	11,300
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△35,932	32,914
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△35,932	32,914

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△35,932	32,914
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△79,771	30,899
為替換算調整勘定	△12,442	△242
その他の包括利益合計	△92,213	30,656
四半期包括利益	△128,146	63,571
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△128,146	63,571
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	電気機器 製造販売事業	不動産 関連事業	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高					
外部顧客への売上高	1,277,145	35,614	1,312,760	—	1,312,760
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,277,145	35,614	1,312,760	—	1,312,760
セグメント利益又は損失(△)	△20,045	17,693	△2,352	△38,547	△40,900

- (注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△38,547千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△38,547千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	電気機器 製造販売事業	不動産 関連事業	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高					
外部顧客への売上高	1,557,858	37,923	1,595,782	—	1,595,782
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,557,858	37,923	1,595,782	—	1,595,782
セグメント利益	55,671	19,451	75,122	△35,005	40,116

- (注) 1. セグメント利益の調整額△35,005千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△35,005千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。